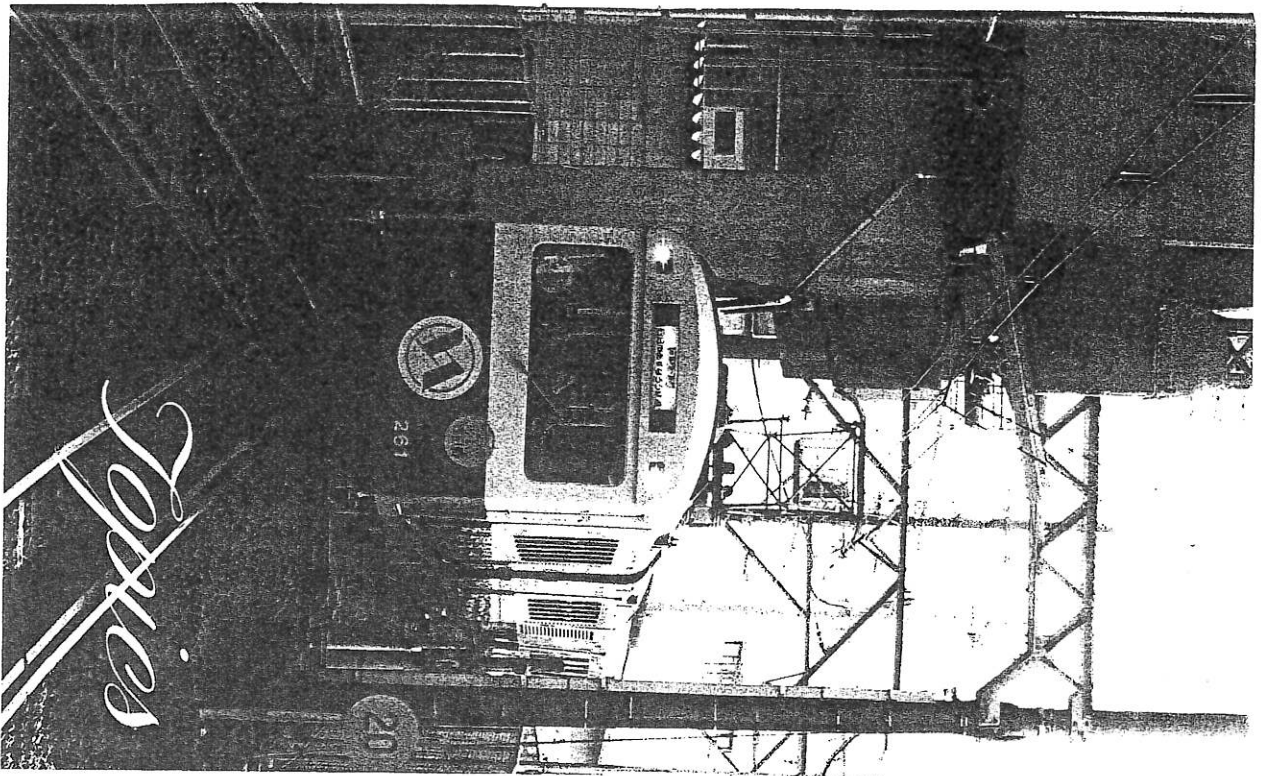


# 公有民営方式で歩む 四日市あすなろう鉄道

三重県四日市市を走る四日市あすなろう鉄道は、  
近畿日本鉄道から内部線・八王子線の運営を移管され、  
2015年4月1日より運行を開始した。  
公有民営方式で地域の鉄道を維持する、  
自治体・交通事業者・利用者が一体となった取り組みを伺った。

文◎茶木 環／撮影◎織本知之



四日市あすなろう鉄道株式会社  
鉄道営業部 運輸課 運輸管理所長

**山上雅人**  
Masato YAMAKAMI



四日市あすなろう鉄道株式会社  
鉄道営業部 次長

**大藪 淳**  
Atsushi OHYABU

さまざまな議論を経て公有民営化に

三岐鉄道の北勢線、黒部峡谷鉄道とともにナローゲージ(特殊狭軌)の路線としても知られる四日市あすなろう鉄道は、内部線(あすなろう四日市・内部)5.7kmと八王子線(日永・西日野)1.3kmから成る。いずれも大正期に開業し、1965年より近畿日本鉄道の路線となった。

沿線には住宅地が広がり、生活路線としての役目を担っているが、1970年には72万人いた輸送人員は減少を続け、恒常的な赤字が積み重なっていた近鉄は、2007年以降、地元自治体である四日市市と内部・八王子線の将来のあり方について協議を続けた。2011年には、四日市市の都市総合戦略に車両更新補助と西日野駅、内部駅の駅前広場整備も盛り込まれたが、その後も輸送人員の減少は続き、近鉄の提案であるBRT(バス高速輸送システム)への転換も含めた経営再建のための検討、地元住民の鉄道存続を求める署名活動(17万人分)など、地域内では、行政、交通事業者、市民によるさまざまな議論と活動が進められた。そして2013年、四日市市と近鉄は公有民営化による存続で合意。7月には学識経験者、沿線自治会、沿線高校、NPO法人の代表者等から構成される「内部・八王子線利用促進協議会」が設置され、利用促進に向けた取

り組みが開始された。

2014年3月27日には、近鉄が75%、四日市市が25%出資する「四日市あすなろう鉄道株式会社」を設立。三種鉄道事業者である四日市市は、市が保有する鉄道施設・車両、近鉄から無償借用した土地を、列車の運行を行う「第二種鉄道事業者・四日市あすなろう鉄道」に無償貸与する。

四日市市は発足後の10年間で鉄道施設の維持修繕に4億円、鉄道施設の老朽更新等に21億円の費用を投じ、四日市市に対しては、公有民営方式移行時に近鉄から支払われた一時金(8億円)に加え、国が施設投資・修繕費用3分の1を、県が6分の1の補助を行うことで、地域主導の鉄道事業を支援することとなった。

快適性や利便性向上を図る施策

四日市あすなろう鉄道の現状を具体的に見ていこう。

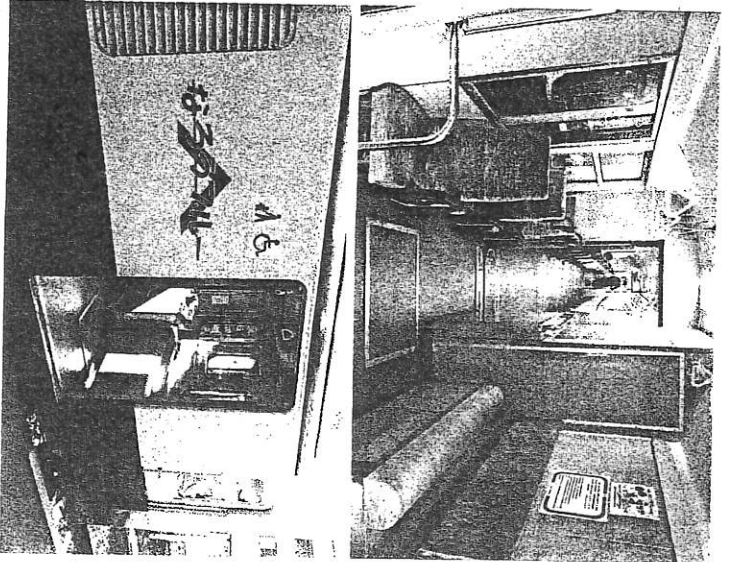
まず、車両についてだが、老朽化した車両は廃車して新造、一部は改造して更新している。従前はなかった冷房設備も、すべての車両に完備された。廃車となった車両はロングシートで、ナローゲージでは向かい合った座席の間が狭く、人が立ってないほどだったが、新造車両はクロスシート(52席)に変更された。座席数は少なくなったが、車椅子やベビーカーが利用できるフリースペースを設けるなど、乗車中

の快適性、利便性は向上した。  
 運行ダイヤは平日・土休日とも同一  
 で、1日150本（内部方面が76本・西  
 日野方面が74本）朝ラッシュ時は4編成、  
 その他の時間帯は3編成で運用してい  
 る。

鉄道営業部の大藪淳次長は「近鉄時  
 代のダイヤがよく練られているので、  
 当社開業後も変更していない。お客さ  
 まにとっても慣れ親しまれたダイヤで  
 あり、変更しないことで利便性を感じ  
 る方もおられるのでは」と語る。

さて、利用者側に立って見れば、普  
 通運賃もポイントになるが、新生後の  
 普通運賃は30円値上げされた。さら  
 に、この路線は近鉄四日市駅で近鉄名  
 古屋線と接続し、乗り継いで移動する  
 利用者が多いが、移管後は2社間の乗  
 り継ぎに初乗り運賃が生じるように  
 なった。

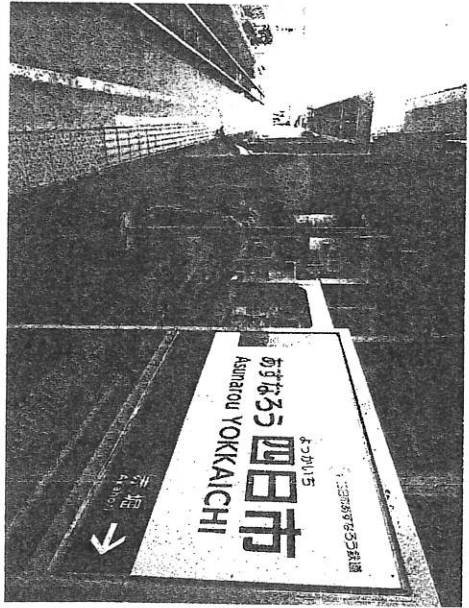
この影響からか、初年度は通勤・通



公募で「なるるラuler」の愛称が付いたクロスシートの更新車両

学とも定期利用が減少したという。近  
 年、通勤定期は安定してきたが、学生  
 たちは自転車に転換し、季節や天候に  
 よっては鉄道を利用するというケース  
 も増えている。定期外が増加傾向にあ  
 るのは、こうした条件付きの鉄道利用  
 が増えているからと見ることもでき  
 る。

こうした現状に対応するため、  
 四日市あすなるう鉄道では20  
 18年春に、学生を対象にした  
 「お試し通学回数乗車券」を期間  
 限定で発売した。260円区間は  
 7回乗車が1000円、200円  
 区間は7回乗車が800円で利用  
 可能とした。  
 今後の課題はやはり通学定期利  
 用の促進だ。2019年春には、  
 通学を対象にした1年定期を発売  
 する。現在発売されている1か月



あすなるう四日市駅。近鉄四日市駅と改札外で連絡する

定期や6か月  
 設定した。  
 「まずは乗っ  
 適性・利便性  
 重要」と大藪  
 する。

また、201  
 日市駅・西日  
 クルトレイシ  
 駅で駅前広場  
 西日野駅では  
 場を設置する  
 イドの環境整

行政や市民と  
 内部線・八工

出た頃から「垂  
 り、イベント列  
 なっていたが、  
 市民の発案によ

が活発になって  
 1dayアソビ  
 ベント列車に垂  
 所に行くとかグ  
 える「カブト、  
 道と東海道の  
 「弥次喜多ま  
 のほか、沿線  
 アップしたスタ  
 ジヤブフェス  
 の一つとして車  
 われるジヤス列  
 楽しむウイン列